

街頭での募金活動を通じて ボランティア精神を養おう



佐々木会長から伊藤事務局長に寄付金を手渡しました

伊藤事務局長は「皆さんがしてくれたことは、大変素晴らしいことです。誰かの役に立とうという気持ちを持つことを大切にしてください」「こねぎらいの言葉をかけました。この寄付金は、赤い羽根共同募金を通じて、地域の福祉向上のために役立てられます。

西根第一中学校(中村晴彦校長、生徒152人)の生徒会は12月21日、八幡平市社会福祉協議会を訪れ、街頭で募った浄財を福祉向上のために寄付しました。

これは、後期生徒会に移行してから初めて取り組む大きな活動として行われたもので、生徒会を代表して市社会福祉協議会を訪れたのは、佐々木啓会長、佐々木優希、田村京花両副会長(いずれも2年)の3人。佐々木会長は「活動に参加した皆さんの気持ちの詰まったお金です。病気などで困っている人たちのために役立ててください」とあいさつして、伊藤繁夫事務局長に寄付金を手渡しました。



紹介者

製造部 主任 松村寿明 さん

「味付ききゆでたまご」「温泉卵」を主力とする、鶏卵の加工販売と「サラダファーム」という名前前で花や野菜の生産販売などを行っています。

かチェックしたり、味付きに加工する作業などを担当して、毎日4シ(約6万個)の卵を取り扱っています。お客さまの口に入るものに触れる仕事ですから、衛生面には特に気を付けていますよ。

卵が味付きになつていくところが楽しみです。自分が作ったものを食べてもらえるというところが良いですね。

まちの企業 探検隊②

株式会社エッグデリカ

若き企業人による会社紹介

所在地：八幡平市平笠2-6-8

資本金：1,000万円

代表者：田村昌則

設立：平成14年4月

従業員数：58人

電話番号：75-0288

事業内容：食料品製造業

主な取引先：日本全国のスーパー、コンビニなど

◆麻しん・風しん混合(MR)ワクチンをお忘れなく
MRワクチン予防接種は、第2期の小学校就学前、第3期の中学3年生、第4期の高校3年生が対象です。
対象となる児童生徒の保護者あてに、通知をしています。免疫を強化する上でも大事な予防接種ですので、忘れずに接種してください。麻しんや風しんにかかったことがあっても、接種することで免疫力が上がる言われています。
この予防接種は、3月31日までに受けてください。病気の予防に効果がありますので、期間内に接種することをお勧めします。

◆外国人の母子が集まり交流会で楽しみました
市は、海外から嫁いで来たお母さんとその子どもを対象に1月7日、安代地区の保健センターで交流会を開催しました。フイリピン料理を作って食べながら、育児の悩みや生活習慣の違い・気軽に話せる友達がいないなど、さまざまな話題で盛り上がり、この交流会がきっかけで友達になったり、子どもを連れて参加できる育児サークルを知ることできます。家の中だけの生活から、外に出ると

いう新しい生活の広がりもできて、今までよりも楽しみがたくさん出来たと、参加者の皆さんから、とても喜ばれています。
今回は、10組17人の親子の参加でしたが、参加者からはとても有意義な一日だったと好評でした。
◆健康づくり推進大会を開催します
健康づくり推進大会を次のとおり開催します。お誘い合わせてご来場ください。
■日時 2月14日(日)午後1時(測定コーナーは正午から)
■場所 西根地区市民センター
■内容 8020運動達成者表彰、講演、実践発表、創作劇、各種測定コーナーなど
※参加希望者は、2月10日(水)までに申し込みください

保健のひろば

☎76-2111・内線1151 市市民部保健課



交流会では楽しく調理実習などをしました

介護のココロ

☎76-2111・内線1184 市地域包括支援センター

◆成年後見制度活用講座を開催しています
成年後見制度とは、認知症・知的障がい・精神障がいなどの理由で適切に判断することが難しくなった人に代わって、後見人が財産管理や契約などの法律行為を行うものです。この制度を利用すれば、悪質商法にだまされても契約を取り消すこともできます。認知症・知的障がい・精神障がいをもつ方々の生活を守り、安心して楽しく暮らせるように応援する制度です。

市は、この制度を解説する「成年後見制度活用講座」を開催しています。市内どこへでも伺います。何人からでも結構です。お気軽に地域包括支援センターまでお問い合わせください。

市は、この制度を解説する「成年後見制度活用講座」を開催しています。市内どこへでも伺います。何人からでも結構です。お気軽に地域包括支援センターまでお問い合わせください。



◆飼っている犬がいなくなったら
最近、市役所に首輪などが外れた迷い犬の保護が多く寄せられています。放れた犬は毎日移動し、日を追うごとに遠くに行ってしまう、捜すことが難しくなります。また、交通事故などの危険にあう確率も高くなります。

最近、市役所に首輪などが外れた迷い犬の保護が多く寄せられています。放れた犬は毎日移動し、日を追うごとに遠くに行ってしまう、捜すことが難しくなります。また、交通事故などの危険にあう確率も高くなります。

▷飼犬がいなくなったら

①市役所、保健所に問い合わせる 市役所、保健所で保護している可能性がありますので、捜す前に問い合わせてください。(いなくなった場所、状況、犬の特徴などを教えてください)

②ご近所や離れた場所の周辺の人に聞いてみる ご近所の人などが、犬を見かけていることもありますので、聞いてみてください。

※「すぐ帰ってくるだろう」と安易に考えず、市役所、保健所に問い合わせたり、すぐ捜したり、ご近所の人に聞いてみましょう。また、月に一度は、首輪・鎖・留め具の点検をしましょう。

環境の未来

☎76-2111・内線1137 市市民部市民課



迷い犬にならないよう気を付けましょう